

若宮児童館における中高生機能強化型児童館の整備に向けた検討状況について

令和6年3月に策定した中野区児童館運営・整備推進計画において、今後、若宮児童館は中高生機能強化型児童館として整備することとしている。令和6年度は基本構想の策定と整備手法の検討を予定しており、現在の検討状況について報告する。

1 意見募集について

基本構想の策定に向けて当事者である中高生等のニーズについてアンケート調査を実施した。

期間	令和6年7月8日～令和6年8月9日
対象	小学5・6年生、中学生、高校生
回答数	372件

そのほか、若宮児童館の近隣に位置する学校の保護者に対し、中高生機能強化型児童館として若宮児童館に求める機能等についてアンケートを実施した。

【要望の多い機能】

- ・ バスケットボール、バドミントン、卓球、ダンスなどの運動できるスペース
- ・ 静かに勉強できるスペースと友達と話しながら勉強できるスペース
- ・ 楽器演奏やバンド活動などの音楽活動ができるスペース

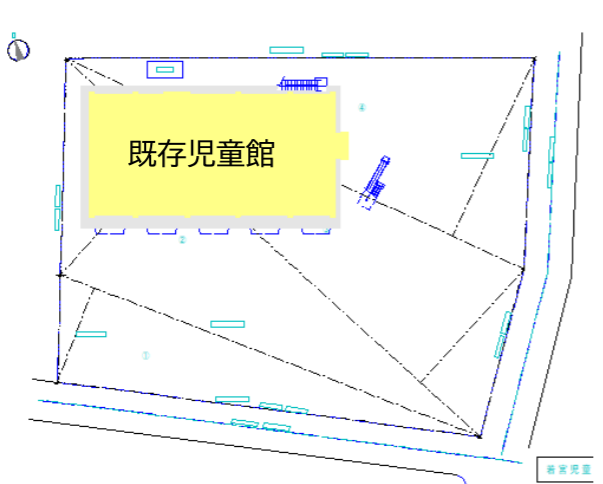
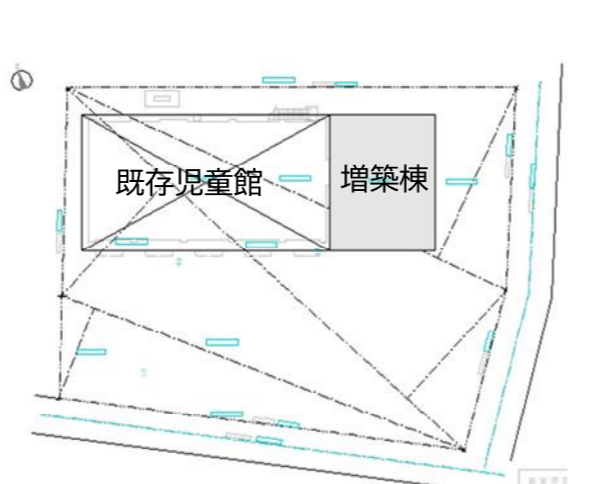
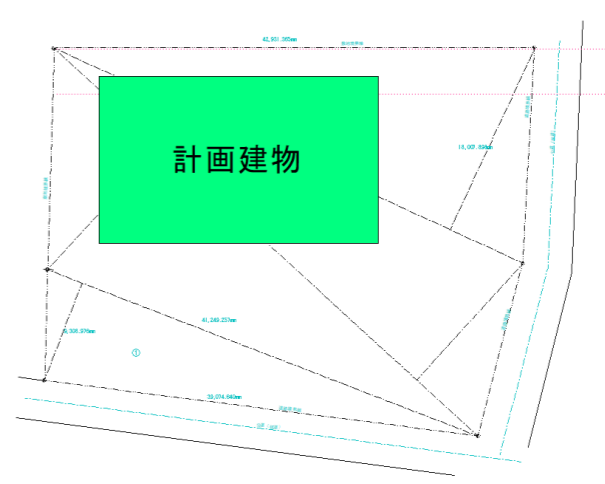
2 整備手法の比較

今後、基本構想の策定と合わせて整備手法を検討していく。なお、整備手法として考えられるものは別紙のとおり。

3 今後のスケジュール(予定)

- 令和6年12月 基本構想(案)策定
- 令和7年 3月 基本構想策定
- 令和7年度以降 設計等に順次着手

若宮児童館 整備手法の比較

区分	A	B	C
整備手法 検討項目	既存大規模改修案	既存大規模改修+増築案	建替計画案 (上限延床面積600㎡)
配置イメージ・ 構造形式(例)			
	鉄筋コンクリート造	既存建築物：鉄筋コンクリート造 増築部分：鉄骨造	鉄筋コンクリート造
規模 *上限面積は用途地域 上の条件を想定	延べ床面積497.48㎡	既存延べ床面積：497.48㎡ 増築面積：102.52㎡ 上限面積：600.00㎡	上限面積：600.00㎡
工事範囲	①外壁塗装 ②屋上防水 ③サッシ工事 ④内装改修(床・壁・天井) ⑤機械設備工事 ⑥電気設備工事 ⑦外構工事 ⑧通信設備工事 ⑨遊具・備品等工事	①既存部分の改修は大規模改修に準ずる。 ②増築部分は中高生機能を付加するゾーンとして計画。	新築工事に準ずる
メリット	○工事費は増築や新築に比べると低い。 ○新築・増築を伴わないため、工期を短縮できる	○従前の児童館部分は小学生や乳幼児を中心として整備し、増築部分は中高生主体のゾーンとして活用できる。	○建替に伴い、延床面積を最大限活用できる。 ○利用する小中高生や乳幼児親子などの要望への対応が可能となる。 ○建物の配置を見直すことで周辺への影響を考慮できる。
デメリット	○体格差のある中高生の利用には自由度が低く、機能の向上を図れない。 ○乳幼児が活動できる空間と小中高生が活動する空間との動線が分けにくい。 ○これまでの水回り設備は小学生以下が基準となっているので中高生や大人の使い勝手が悪い。	○建替と比べると、配置上の自由度が低い。 ○既存建物の改修と増築分のコストがかかるため、新築工事と比べた時のコスト上のメリットが少ない。	○新築に伴う設計や、既存施設の解体工事の期間が加わるため、A及びBと比較し整備期間が長期間になる。